

きのくに コミュニティ スクール

vol.09 | 紀の川市

「きのくにコミュニティスクール」とは、学校運営協議会を設置した学校(コミュニティ・スクール)とそれを支える既存の「共育コミュニティ」等との連携・協働により、社会総掛かりで教育を実現する仕組みです。

紀の川市のコミュニティ・スクールは、平成29年度から導入が始まり、令和元年度に全ての小中学校に設置が完了しました。学校は、それぞれの規模や地域の状況に応じた学校運営協議会の運営が求められます。

そこで、紀の川市教育委員会では、学校運営協議会を形骸化させないため、学校教育と社会教育が常にタッグを組み、担当者が学校を訪問し、状況を把握するとともに、学校運営協議会運営について6つのプランを提案しました。



学校運営協議会のプラン案

社会教育指導員がつないだ学校と地域の連携

打田中学校では、学校運営協議会や地域関連団体・PTAと連携し、「地域に信頼される学校」を目指し、社会教育指導員がつなぎ役となり、地域との協働活動として「花いっぱい運動」に取り組んでいます。



打田中学校での協働活動「花いっぱい運動」

この連携を通して学校教育の活性化を目指し、3年生136人が参加し、1,000株の花の苗を植えました。

共育ミニ集会をいかした地域連携

安楽川小学校では、「みんなで作る みんなの“安小”」の実現に向け、「共育座談会」を開催しました。和歌山県CSマイスター大谷裕美子氏から、コミュニティ・スクールの意義や効果を説明していただきました。

その後、橋本市家庭教育支援チーム・ヘステア(HESTIA)の進行で、本校児童の現状と課題について共通理解のもと、「地域とともにある安小」を実現するため、参加者全員で「何ができるか」「できたらいいなと思うこと」について、優先順位を考えながら熟議しました。



安楽川小学校での「共育座談会」

紀の川市の今後の取り組み

本年度も紀の川市教育委員会との連携校を募り、学校運営協議会の相互参観を実施します。また、各学校には、プラン案を参考に、年間4回の学校運営協議会を見通して、何を話し合い、何を合議するのかを明確にした会議運営を期待しています。さらに、共育コミュニティなど社会教育の側面からの取り組みも模索しています。学校と地域が子供の手をつなぎ、共に育てていく教育環境を目指しています。



きのくに教育めぐり



海南市教育委員会



海南市は、日本四大漆器の一つである「紀州漆器」や、市内100社程度の会社が集積する「家庭用品」の他、みかん等の果樹栽培が盛んなまちで、「下津蔵出しみかんシステム」が日本農業遺産に認定されています。また、みかん・お菓子発祥の地と言われ、市公式PRキャラクターに「海ニャン」を任命し、本市の魅力をPRしています。



「普段図書館を利用しない人たち」が楽しめる施設

令和2年6月1日、海南市役所跡地に「海南nobinos(ノビノス)」が誕生しました。

本との出会いは、感性や好奇心を磨き、新しい世界を知るきっかけになりますが、図書館を利用する人たちの固定化が進んでおり、年々利用者数も減少していることから、海南nobinosは、「図書に触れる機会の創出」に焦点を置き、「図書館への入口となる図書館」と位置付けています。

海南nobinosには、図書館機能を核としながらも、市民活動生涯学習活動支援機能、子育て支援機能、広場のほか、スターバックスコーヒーも出店しており、従来の図書館のイメージに捉われず、普段読書を目的としない人を図書館に呼び込む、本当の意味での読書促進を目指す「新しいカタチの図書館」となっています。

1階は駐車場(2時間無料、以降1時間ごとに100円)、2階は5万冊の絵本を開架し、3階は児童書、4階は一般書、学生たちの学習スペースもあり、開館以来、毎日1,000人を超える入館者が続き、年間来館者数は62万人を超えました。



海南nobinos(外観)



海南nobinos(2階フロア)

「歴史・防災」を知り体験できる施設

海南市では、地震や津波など防災に対する関心が増えています。海南市は「井澤弥惣兵衛」という全国的にも治水工事で功績がある偉人の出生地であり、先人の知恵や歴史を知ることで、防災教育に寄与できると考え、現在のわんぱく公園を拡張整備し、「(仮称)中央防災公園」内に、歴史や防災について学べる「(仮称)体験学習施設」を整備します。

「(仮称)体験学習施設」では、海南市の歴史や防災について、遊びや体験を通じて学ぶことができる仕掛けやイベントを施設及び公園一帯を使って提供する予定としており、社会見学の場としても魅力のある施設を目指し、取り組んでいます。



【井澤弥惣兵衛】現在の海南市野上新に生誕。優れた治水技術を持ち、海南市・亀池の築造や、さいたま市・見沼代用水の工事などを行いました。

ストップ! スマホ・ゲーム依存

依存症にならないために

スマートフォン等の普及に伴い、SNSやオンラインゲームが手軽に楽しめるようになりました。一方で、ゲーム等特定の行為にのめり込み、「やめたくてもやめられない」状態となる「行動嗜癖」が問題となっています。

依存によって様々な影響が考えられます



和歌山県教育委員会では、子供たちが依存症について正しく理解し、予防していくための取組として、学習資料集、動画教材、家庭でのルールづくりリーフレット等を作成し、ホームページに掲載しています。学校や家庭等において、様々な機会を捉えて積極的に御活用ください。

子供たちがスマートフォンやゲームと上手に付き合うことができるよう、皆様と一緒に取組を進めていきたいと考えていますので、御協力よろしく申し上げます。



教育委員会HP